

今日のトピック RBAは市場予想を上回る0.5%の利上げを実施 金融政策正常化に向けてさらなる利上げを見込む

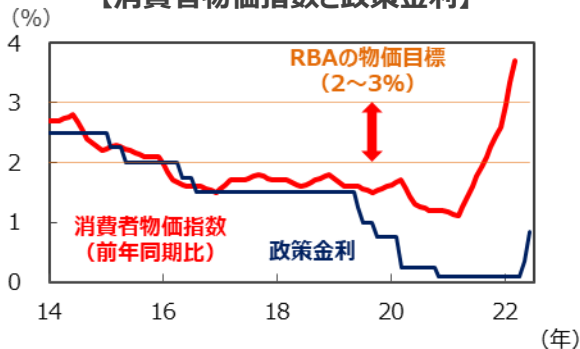
ポイント1 5月に続き、市場予想を上回る利上げを実施

- 6月7日、豪州準備銀行（RBA）は金融政策決定会合で、政策金利である翌日物金利の目標を0.5%引き上げ、0.85%としました。
- 市場予想では、0.25%の利上げを見込む向きが優勢でしたが、これを大きく上回る決定となりました。利上げを開始した5月も利上げ幅は市場予想を上回っており、RBAは市場の想定以上のペースで利上げを実施しています。

ポイント2 豪州経済は堅調で、利上げに対して耐性ありとRBAは見込む

- RBAは、大幅な利上げの背景として、インフレの上昇をあげています。RBAは、コロナ禍のサプライチェーンの混乱やウクライナ情勢の他、豪州国内で今年発生した洪水や労働市場のひっ迫などの影響を指摘しています。また、電気・ガス料金やガソリン価格の上昇などにより、短期的には想定以上のインフレとなる可能性があるとみています。
- 6月1日に発表された豪州の1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比+3.3%と堅調で、豪州の失業率は過去50年近くの中で、最も良好な水準にあります。RBAは、最近のコモディティ価格の上昇によって国民所得が押し上げられつつあるとし、今回の大幅な利上げに対しても豪州経済は耐性があると指摘しています。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 消費者物価指数は2014年1-3月期～2022年1-3月期。変動の大きい項目を除外したトリム平均値。政策金利は2014年1月～2022年6月。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【豪ドル円レートと豪日金利差】



(注) データは2019年5月1日～2022年6月7日。

豪日金利差は2年国債利回りの差。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 金融政策正常化に向けて、今後も複数回の利上げを見込む

- 5月に続き、市場予想を大幅に上回る利上げとなったことから、金融政策決定会合後の為替市場で豪ドルは対円・対米ドルともに強含み、対円で一時96円台をつけました。RBAは、ウクライナ情勢や中国経済の不確実性による世界経済やコモディティ価格への不透明感を警戒しつつも、今後も金融政策正常化に向けてさらなる措置を取るとしており、今後も複数回の利上げが見込まれます。

ここも
チェック!

2022年5月26日 2022年6月の注目イベント
2022年5月24日 9年ぶりの政権交代となった豪州総選挙

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。